

# 清風中・高校 国内屈指の新体操場



## 「五輪代表目指せ！」

完成した清風学園新校舎の体操場で思い出を語る池谷幸雄さん(左端)ら  
11日、大阪市天王寺区の清風学園(南雲都撮影)

## メダリスト太鼓判

11人の体操五輪メダリストを輩出した清風中学校・高校(大阪市天王寺区)体操部が使う国内屈指の体操場がある新校舎が完成。歴代OBが集まって新しい高校体操界の「聖地」との出会いを歓迎するとともに、競技人生の原点ともなった同校体操部での思い出話などに花を咲かせた。

段階的に鍛える

同中・高の体操部は全国有数の名門校として知られ、14人の五輪代表を輩出。しかし彼らが練習していた体操場があった円形校舎は昭和32年の建設とあって老朽化が激しく、平成27年に取り壊され、新校舎の建設が進められてきた。

新体操場は竹中工務店とスポーツ用品メーカーのSenohが施工。校舎最上階にあり、面積は約1200平方メートル。床に埋め込まれたトラクションや反発力の強い助走路などを完備しており、段階的に筋肉を鍛えることができるなど、実践

5人は「いい設備だ」「すごい」と言いながら、体操場を視察。監物さんは円形校舎の旧体操場を振り返って、「コンクリートの上に

的で本格的な設備になっている。

「うらやましい」

今月5日、体操場に集まったのは、メキシコ、ミュンヘン、モントリオール五輪団体金の監物永三さん(68)▽ロサンゼルス五輪個人金の具志堅幸司さん(60)▽ソウル五輪団体銅の池谷幸雄さん(46)と西川大輔さん(46)▽アテネ五輪団体金の米田功さん(39)らメダリスト。

幅約1メートルの板を張っただけの床での練習はさすがに「つらかった」と振り返った。また池谷さんと西川さんも、「これなら自分たちももっとうまくなって、学校に多くのメダルを持ち帰ることができたのに」と周囲を笑わせつつ、「先輩たちから世界の体操、オリンピックの

素晴らしさを教えられて闘志がわいた」と懐かしんだ。体操場には、大先輩の前に緊張した様子で練習に臨む後輩らの姿も。5人は「オリンピックを身近に感じられるような新体操場で練習に打ち込めるのがうらやましい。ぜひ五輪代表、メダル獲得を目指してほしい」と励ました。